

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 岡山医療センター



総合力と専門性

臨床研修のすべてがここにある！

岡山医療センター 診療部長(小児科) 清水 順也

岡山医療センターの初期臨床研修について——

当院は、岡山県の急性期医療を支える中核病院として、地域医療支援病院などの各種指定を受け、救急から専門領域まで幅広い診療機能を備えています。33科にわたる充実した診療科を擁し、多様な症例に出会えることが最大の魅力です。

「総合力と専門性、臨床研修のすべてがここにある！」を体現する、理想的な研修の土台が整っています。

プログラムの特徴について——

当院の初期研修は、特定コースを設けない単一コース制を採用。入職後の志望変更にも柔軟に対応し、研修医が自身の将来像に合わせて計画を組み替えやすいのが特色です。必修科目に加え自由選択9カ月を確保し、研修医の主體的な学びを支援します。

ブロック研修は1カ月単位としていますが、さらに、放射線科や臨床検査科などの必須以外の診療科も2週間単位のミニローテ(短期研修)として設定可

能で、幅広く様々な分野に触れる機会を提供します。進路検討の早期化に対応し、希望に応じて1年目から自由選択を入れる運用も可能です。

1年目の総合診療・救急(2カ月)の期間で集中的な外来研修を設定しており、2年目の地域研修に進む前に「外来の基本姿勢」を学ぶことを狙いとし、研修医個々の到達度に応じて開始時期を調整します。

内科では二科並行ローテも希望により選択可能で、これにより、患者の経過を長く診る視点を養います。年間計画は原則固定ですが、前向きな学習理由があれば手続きを経て変更も検討可能です。

教育面での目玉は、毎年秋から冬に開催する院内発表会です。1年目・2年目の全員が症例報告を行い、指導医が責任を持って発表から論文化までを指導します。中には全国学会での発表や、英文誌を含む質の高い医学雑誌へ投稿する研修医もいます。また、研修医主体のプライマリ・ケア勉強会や各診療科でのセミナー、BLS/ICLS受講に加え、NHO主催の「良質な医師を育てる研修」への参加も推奨しています。なお、学会発表や研修参加の出張費等費用については、上限内で病院からのサポートがあります。

働き方については、当直明けは休みとし、研修と休養のバランスを確保しています。時間管理の徹底を前提としつつ、申し送りや引き継ぎを通して患者責任を全うすることを学びます。

読者へのメッセージ——

当院が最も大切にするのは自主性です。指導側の働きかけは惜しみませんが、「自ら学び取りに行く」姿勢こそが、将来の成長に大きな差を生みます。一見遠回りでも将来必ず活きる、いわば「無用の用」を大切にしながら、全科で「基礎力」を鍛えてほしいと考えています。

私たちが目指す医師像は、「目の前で困っている人を、確実に助け、地域に信頼される医師」です。

進路選択においては、施設の評判やハード面だけでなく、「自分がここで成長したい」と納得できる場を自分の意思で選ぶことが重要です。見学やイベントを通じて十分に情報を集め、自己決定で研修をスタートさせる、その覚悟と熱意を当院は全力で支えます。



PROFILE

出身地：愛媛県
出身大学：岡山大学(1995年卒)
宝物：両親から授かった自分自身
座右の銘：なんとかする、なんとかなる



国立病院機構

岡山医療センター

住所 〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

WEB <https://okayama.hosp.go.jp>

病床数 **609** 床 診療科数 **33** 科

岡山医療センターの特徴

岡山医療センターは、高度急性期総合病院として地域中核を担う。地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院、地域医療支援病院の指定を受ける。高度で専門的な先進医療を総合的に提供し、DPC実施の急性期病院として脳・循環器領域で先進的役割を担う。総合周産期母子医療センターとして成育医療を担い、小児から成人まで切れ目のない診療体制を整備。卒後臨床研修病院として研修医教育にも力を入れ、地域医師会の生涯教育にも積極的に協力している。各診療科が高い専門性を保ちながら密に連携し、あらゆる疾患にワンチームで臨み総合力を発揮するのが強みであり、多様な経験が積める研修環境が整っている。

VOICE × 臨床研修医

挑戦を後押ししてくれる環境です！

臨床研修医 1年目 岡本 萌桃

救急外来で担当した患者さんを、その後、総合診療科のローテーションで入院から回復まで継続してフォローできる点は、臨床の学びとして非常に大きいです。一連の流れを自分の目で追い、「見っぱなし」にならずに患者さんの元気な姿を見届けられるのは、医師としての喜びです。今後は、当院の活発な学術活動を活かし、院外発表などにも積極的に挑戦したいと考えています。「謙虚さと向上心」を忘れず、目の前の患者さんに確かな手を差し伸べられる医師を目指していきます。

PROFILE

出身地：岡山県
出身大学：香川大学(2025年卒)
宝物：家族
座右の銘：誠心誠意



将来のロールモデルが見つかります！

臨床研修医 2年目 大月 貴弘

各診療科の充実度に加え、医局がオープンな雰囲気、ローテート後も先生方と繋がりを保ち、気軽に相談できるのは当院の大きな魅力です。先生方が臨床だけでなく研究や学会発表にも熱心なため、ロールモデルを見つけやすいのも当院ならではの環境です。私自身も影響を受け臨床研究に興味を持つようになりました。疑問をうやむやにせず、すぐに論文などで調べる先生方の姿勢は、日々の診療に大きな影響を与えています。将来の目標を見つけるための材料が当院には揃っています。

PROFILE

出身地：岡山県
出身大学：鳥取大学(2024年卒)
宝物：人との出会い
座右の銘：やらずに後悔するよりやってみよう



BACK NUMBER × バックナンバー
過去の「NHO NEW WAVE」が
WEBサイトから閲覧できます！

https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html

NHO ニューウェーブ

検索



NHO 本部公式 SNS アカウント

本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください！

facebook

✕



NHO NEW WAVE

読者アンケート実施中！

◀左記二次元コードよりご協力ください